在宅がん緩和ケアフォーラム

2005.11

『がんでも、最後を家で過ごせるまちづくり』

県民及び県内の医療機関、訪問看護ステーション等の在宅がん患者への緩和ケアに携わる者に、在宅がん緩和ケアについての関心と理解を深め、在宅がん緩和ケアを希望する患者が、適切な緩和ケアが受けられる社会づくりに寄与するため、在宅がん緩和ケアフォーラムを千葉県とＮＰＯ法人「ピュア」が協働で２回行います。１回目は医療福祉保健などネットワーク関係者だけで、地域関係機関のそれぞれの役割分担と連携を図るため、ネットワーク構築事業の問題点や課題、その解決について、基調講演とパネルディスカッションを行い、「地域で支える在宅がん緩和ケア」を深めます。　＊2回目は、対象者に県民も含めて、2月12日（日）に行います。

日　時：平成17年12月10日(土)　13:00〜16:00　先着200名(事前申込優先)　無料

場　所：千葉県看護協会　２階大研修室　千葉市美浜区新港２４９－４　電話 043-245-1744

（ＪＲ京葉線・モノレール千葉みなと駅下車徒歩１０分、千葉駅北口よりバス２３番乗り場）

対象者：在宅がん緩和ケアに携わる関係者

基調講演

「地域で支える在宅がん緩和ケア」

十和田市立中央病院　院長　蘆野　吉和

（前 福島労災病院　外科部長）

1978年東北大学医学部卒。東北大学医学部第一外科を経て、1985年福島労災病院に赴任。2005年11月より現職。
日本外科学会専門医・指導医など。日本緩和医療学会理事、日本在宅医療研究会常任世話人・日本ホスピス・在宅ケア研究会理事など緩和医療、在宅医療に精通している。
いわき市地域在宅ターミナルケアシステムに関わる。
「看取りの文化」の継承を唱えている。

パネルディスカッション

「ネットワークの構築に向けて」

【病院の立場で】
渡邉　敏（千葉県がんセンター緩和医療科部長）
【診療所の立場で】
堂垂伸治（どうたれ内科診療所院長・松戸市）
【訪問看護ステーションの立場で】
大木信子（八日市場市訪問看護ステーションつばきの里所長）
【社会福祉協議会の立場で】
水野谷恵子（君津市社会福祉協議会
福祉サービスコーディネーター）
【市町村の立場で】
長谷川秀美（長生村健康福祉課主任看護師）
【健康福祉センターの立場で】
田中由佳（市川健康福祉センター地域保健福祉課主任保健師）
【コーディネート】
大岩孝司（さくさべ坂通り診療所院長）
藤田敦子（ＮＰＯ法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア代表）

主催：千葉県／ＮＰＯ法人千葉・在宅ケア市民ネットワーク ピュア
後援：千葉県医師会、千葉県歯科医師会、千葉県薬剤師会、千葉県看護協会、千葉県社会福祉協議会、千葉県訪問看護ステーション連絡協議会、千葉県在宅介護支援センター協会千葉県社会福祉士会、千葉県医療社会事業協会、千葉県介護支援専門員協議会、千葉県介護福祉士会、千葉県ホームヘルパー協議会、千葉ヘルス財団

お問い合わせ：
NPO 法人千葉・在宅ケア市民ネットワーク
ピュア事務局
TEL 070-5554-3734　**（平日 13〜17:00）**
FAX 047-448-7689
http://www.npo-pure.npo-jp.net/
をご参照ください

千葉県では、末期がん患者が痛みを和らげながら家族とともに自宅で最期の日まで有意義な日々を過ごしてもらうために、２００２年に「在宅がん患者緩和ケア支援ネットワーク指針」を策定し、２００３年より県内各保健所管内でネットワークの構築事業を進めています。また、２００４年は、県内約１、４００機関の医療福祉情報を入れた「在宅緩和ケアガイドブック」の作製や県看護協会において情報提供などを行っています。

在宅がん緩和ケアネットワーク連携概念図

参加申込　**在宅がん緩和ケアフォーラム一回目**　12 月 10 日(土)

先着 200 名様ですが、事前申込を優先いたします。お申込に際しては、下記をご記入下さい。できるだけ、関係機関または所属機関にてお取りまとめの上、ご連絡を下さいますようお願い申し上げます。申込へのご返信はしておりません。尚、個人情報保護につきましては、当法人規約に則り厳重に取り扱い、当フォーラム以外の目的で使用することはございません。

ＦＡＸ番号　０４７－４４８－７６８９　へこのまま送信下さい

申込氏名	
市町村名	（　　）市・町・村
所　　属	
職　　業	医師、看護師、MSW、他医療（　　）、ケアマネジャー、 社会福祉協議会、他福祉（　　）、保健、その他（　　）
参加人数	（　　）名

メール　pure@ae2.dion.ne.jp　**でもお受けしております**

NPO **法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア事務局　宛**